

## 第 25 回馬の絵作品展 審査講評

審査委員長 齊藤 隆博

ことし神田日勝は NHK 連続テレビ小説「なつぞら」に出てくる役柄のモデルになりました。最近ここ記念美術館への関心も高まっています。応募作品は 875 点でした。いつもより優れた作品が多く選ぶのに大変苦労しました。

特に小学校低学年は発想が豊かで完成までしっかり取り組んだ作品が目につきます。高学年は絵具の使い方を工夫し表現方法が幅広くなりました。しかし作品はその技法に負けない力強さを感じます。

ところで馬は人の心を見抜くと言われます。それほど繊細な動物です。馬に触れ寄り添う機会がある時はその実感を大切にしてください。

中学生は描きたいものを大胆にとらえ背景や馬の毛並みなど細部を丁寧に描いて主題を効果的にしています。さらに馬の躍動感や生命力が直接伝わって来ました。全体にどの作品も真剣に自分の気持ちを込め情感が溢れています。

次年度も皆さんの個性的な作品をお待ちしております。